

The Action Sequence Method アクション・シーケンス・メソッド

ハンク・ブルーデン博士（米国・サンフランシスコ・テクニカルアナリスト協会）サンフランシスコ・ゴールデンゲート大学・Agenoビジネス・スクール教授

四半世紀にわたり私はトレーダーや投資家に、テクニカル分析の大学レベルの教育を続けてきました。意欲のある金融ビギナーに教え、プロの投資家やトレーダーにチャレンジする能力という点で「ベスト・ティーチャー」、「ベスト研究者」の両方の賞を得ることができたことを大変誇りにしています。この間、投資のプロの方々からのフィードバックは、行動ファイナンス、テクニカル分析の原理と応用における継続的な改善に大いに役立ちました。私の教育者としての最大の課題は、人々を、原則を理解するレベルから、それを実践するレベルに引き上げることを支援することであることに気づきました。

何年にもわたり、私の経験と二次的なりサーチを基に、革新的で有効な教育システムであるアクション・シーケンス法を発展させてきました。これはテクニカル分析の中級レベルの学習者のための教育システムです。アクション・シーケンス法を大きく分類すれば、ペーパー・トレーディングと考えられがちですが、この手法では幅広いフィードバックに当初のシーケンスのリプレイを加えることで、以前の経験からの学習も組み込んでいます。このリプレイ部分はとても重要で、これを学ぶことで、勉強中のトレーダーが将来のマーケットに適切に対応できるようになるのです。

分析的フレームワーク

テクニカル分析におけるアクション・シーケンスは、ビジネス・スクール等で使われているケース・スタディ・メソッドを修正したものになります。ハーバード・ビジネス・スクールの学生たちはケース・メソッドを用い、経験から活発に習います。アクション・シーケンスとケース・メソッドは強い類似点があります。

- ・実生活から生じる実際の問題の分析。学生は自分を実際のマネージャーの立場に置く。
- ・意思決定指向
- ・実体験を通じての学習または体験学習アプローチ
- ・学生たちの理解、判断、コミュニケーションを発達させて効果的な行動へと導く
- ・自信と自立力の養成

加えて、アクション・シーケンスは、市場行動の過去のケースをより具体的なものにするため、時間的な試練を受けたワイコフ原則の応用も重視します。学生たちは株式市場分析のワイコフ手法の実際の教材を現実的に応用することで、知識と経験を得ることが出来ます。多分、このダイナミックな教育手法のエッセンスは、トレーダーやアナリストの興味を呼び覚ますことができるということです。トレーダーはこの教育プロセスにおいて受身でいるのではなく、積極的な参加者になります。

往々にして、エキサイティングで挑戦的な教育への参加は自己の適性感覚を不安にしますが、それが自己発展を求めることにつながります。この教育経験により、トレーダーが手探り状態、自己発見、盲点の発見などに気づけば、本当に重要な場、つまりディーリング・デスクにおける自己の行動を実際に変革させることにつながるでしょう。

アクション・シートやフィードバックによる次のような練習してみましょう。実際のトレーディングをアクション・シーケンス手法に基づき、実際にやってみることをお奨めします。

アクション・シートとフィードバック演習

この練習では、株式の毎日の折れ線グラフを用いたテクニカル分析を行い、トレーディング・ポジションを構築したり解消したりします。カバーされる期間は12月から翌年の11月までです。この期間、ボトム近辺においてショートカバーまたはロング・ポジションにし、ピーク近辺において売り抜けまたは空売りをする機会となる中期スウィングがあります。すべての取引にストップ・ロスを置きます。トレンドに沿ったピラミッディング（ポジションの積み増し）も有効です。あらゆるワイコフ原則を適切に使いこなして下さい。これは「オープン・ブック」演習です。

アクション・シーケンスをすすめるに当たり、「3つのスキル」のセクション、その他、自身で取ったメモも自由に参照して下さい。

この演習で、あなた自身のデータを一部加えて作成したチャートが付属する「アクション・フォーム」が出来上がります。あなたは手書きで価格と出来高のチャートを、トレーディング・ペーパーに書きこんでいきます。そして、需要と供給の関係を測定し、現在の状況と将来の株価動向の見通しを立てることになります。次に、大口トレーダー(*)が何をしようとしているかを判断し、明確なアクションを決めます。買いか、売りか、中立の継続か。

それぞれのアクション・シートに続いて、「フィードバック」のセクションに入ります。フィードバックは二つの部分からなります。最初の部分は市場からのフィードバックそのものから構成されます。この「市場で実際に何が起きたか」というフィードバックが最も強力なフィードバックです。二つ目の部分は「群衆行動のライフ・サイクル・モデル」、「トップ・トレーディングの10のタスク」等のワイコフ理論の解釈に精通した人たちのコメントで構成されます。この演習における株式チャート・シーケンスのケースでは、私はエキスパートとして意見を述べる役割です。

マーケットの動きにシンクロしない場合は、ひとつ前のアクションに戻ります。フィードバックとリプレイをしながらアクション・シートに沿って続け、シーケンスが完了するまで続けます。アクション・シートがシリーズとして完了した時、有益だったワイコフ理論をノートしておきます。これが、次にトレーディングをする時のあなたの武器庫になるでしょう。

将来あなたが自分自身でトレーディングをする時、是非このアクション・シーケンス演習のロジックを使ってください。この手法が、あなたが売りたいと思っている株式、商品、先物、その他のトレーディングの対象となる金融商品で、バックテストやペーパー・トレーディングを行う際に、特に役立つということがわかるでしょう。更にこの演習における理論と手順は、あなたが「トップ・トレーディングの10のタスク」についてブリーフィングや定例報告をする時に大いに役立つでしょう。

アクション・シーケンスは実践教育の哲学に基づくものですから、演習を行う時にはフルに参加することが必須です。アクション・シーケンス・フォームの構成要素の一項目、一項目を、注意深く、そして完全に、自分自身で書き入れて行かなければなりません。決して項目を飛ばしたり、自身の考えを書き留めることを省いたりしてはいけません。考えたり書き留めたりすることがスキルの向上、更には正しい判断力を身につけることに大いに役立つのです。市場や各種論評からのフィードバックを研究することは、

あなたのスキル、知識、判断力を高めるためには必須なのです。

アクション・シーケンス 1 (需要と供給の解釈)

9.5の図を使ってシーケンスを完成させなさい。決して先を見ずに、まずこのシーケンスを完成させなさい。

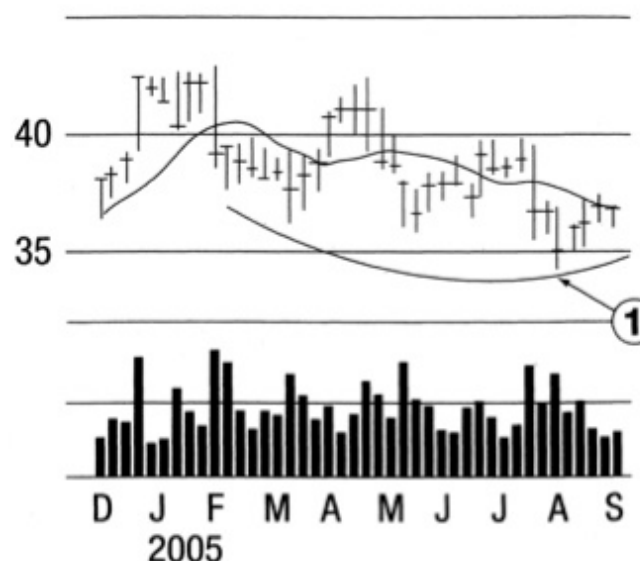
1. 透明な紙にこのチャートを書き直しなさい。価格と出来高が感覚的にわかるように、必ず自分自身で書きなさい。(自身の観察を、ワイコフ理論に沿って口に出して言いましょう。)
2. 需要と供給の関係を判定しなさい。現在の位置は何か？将来予想される市場のトレンドは何か？
3. 市場に参加しているトレーダーらは何をしようとしているのか？
4. 次の中から一つ選びなさい。空欄を埋めなさい。
e. ____で買い(ロング)、____にストップを置く
f. ____で売り(ショート)、____にストップを置く
g. 現在のポジションを____でクローズする
h. 現在のポジションに置いているストップを____に動かす
i. 何もせず今後の進展を見守る
5. このアクション・シーケンスの中にある行動を起こすにあたり、あなたが得べき適切な心理状態に持つために、「トップ・トレーディングの10のタスク」のどれを採用したいか？

(例えば、アクションをとる機を狙う状態にすることが、このアクション・シーケンスに必要な精神コントロールに適切なタスクか？)

アクション・シーケンスのフィードバック 1

市場自体が貴重なフィードバック練習を与えてくれます。アクション・シーケンス2の図(図9.6)を見れば、ポイント1からポイント2にかけて、価格が出来高の拡大を伴い急伸していることが分かります。これは強気です。更に価格はポイント1とポイント2を結ぶトレンドのハイヤー・ロウとハイヤー・ハイのトレンドに沿っています。これも強気です。しかし、このフィードバックと解説は、既に結果が分かっていることについて完璧な予測を行うという、後知恵の要素があります。

図9.5 アクション・シーケンス 1



このアクション・シーケンス1の先行き分析は簡単ではありません。しかし2004年12月から2005年8月の価格と数量を注意深く分析すると、トレーダー・アナリストは、価格下落は多分、デストリビューション(注:一定レンジで株を売却すること)はなく、アキュムレーション(注:一定レンジで株を購入すること)だろうという手がかりを得られるでしょう。2005年3月と、5月/6月の市場の下落時期に、出来高が増加しているのもアキュムレーション考えられます。これらのターニング・ポイントから分かることは、大口トレーダーら(*)と需要の強さが、売り圧力を吸収しているということを示しているのです。

ポイント1は、市場が上伸する用意があるかどうかを見るため、大口トレーダー(*)がテストしているポイントです。

そこでは、価格が以前に作ったサポート・ラインを突き抜けて下がっていますが、これは大口トレーダー(*)が一般の売り手を惹きつけるために作り上げたものです。2005年の7月最終週から8月第1週にかけての出来高増は、弱気筋の大きな努力とフォローがあったことを示しています。しかし、この弱気筋による価格下落を継続させようとする努力は実を結ぶことなく、実際に8月終盤の上昇により、上げ転換になりました。

こうなると、全ては次の下落の強さがどの程度かということに依るという状況です。

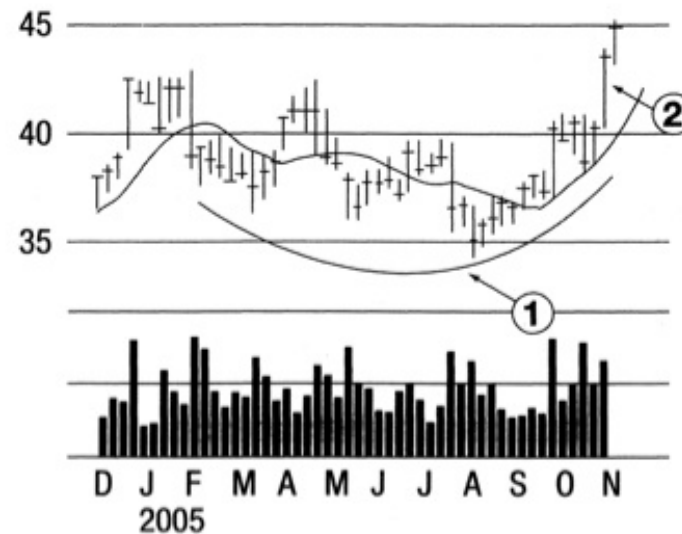
9月中旬にかけての低下傾向の弱まりと出来高減少は、弱気筋が疲労困ぱいして市場支配力を失い、強気筋が優勢となっていったことが分かります。ワイコフ理論のスプリング原理が当てはまっているようです。すなわち、トレーディング・レンジのサポート・ラインを下回ったところで反発し、価格変動幅の縮小と出来高の減少を伴い、きちんと安値を試すという展開です。この解釈が出来ていたトレーダーは、2005年9月中旬の価格が低い時期にポジションの最初の3分の1を買い進めることができたでしょう。

損切りのための売りのストップ・オーダーは、ポイント1の少し下の水準に設定しておかねばなりません。

2005年の1月から8月にかけては、トレーダーはレンジ相場の暗い雰囲気の中で辛抱強くせねばならなかったのです。そしてポイント1から市場が上昇するのに沿って、気持ちを切り替え、ロー・リスクのトレーディング・アイデアを構築し、機を狙ってアクションを取るのが賢明だったということです。

*原文で「Composite Man」となっている部分は「大口トレーダー」と訳しましたが、「スマート・マネー」と言う意味合いがあります。また、「相場操縦に近いようなことを行える大口投機筋」というようなニュアンスを持つこともあります。

図9.5 アクション・シーケンス 2



President's Report [continued from page 1]

finance. The most important change is that there will now only be one syllabus for two exams. The difference between the exams is the way they are conducted (multiple-choice versus essay). We are sure that these changes will give the CFTe program a modern design, and therefore, value to its holders.

I wish you all the best in your analysis and trading. I am looking forward to seeing you in San Francisco in October. ♣

Best regards,

Rolf Wetzer

Rolf Wetzer, Ph.D.
IFTA President